

令和 8 年度 協働のまちづくりチャレンジ事業申請書

※提出された申請書の内容は、個人情報を除いて公開する場合がありますので、ご了承ください。

※太枠の中をご記入ください。

申請部門	スタート部門
※プルダウンから選んでください	

【1】事前相談

（1）市民活動サポートセンターコーディネーターへの事前相談 ※スタート部門は必須、一般・団体連携部門は任意です

コーディネーター名	中田コーディネーター
事前相談日	4月2日
※複数回相談した場合、全てご記入ください	

（2）協働を希望する課への事前相談 ※スタート部門は任意、一般・団体連携部門は必須です

協働希望課名	
事前相談日	
※複数回相談した場合、全てご記入ください	

【2】応募要件

該当する部門の応募要件の太枠内に、○を記載してください。（プルダウンになっています）

団体要件		
該当の部門	要件内容	
全部門共通	5 名以上で構成し、主に金沢市内で活動し、今後も活動を予定している団体である。	○
スタート部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去に採択された団体ではない。	○
スタート部門	法人格を取得しておらず、かつ設立から 3 年以内の団体である。	○
一般部門、団体連携部門	運営に関する規約等があり、1 年以上の活動実績を持っている。	
一般部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去 3 回以上採択された団体ではない。	
団体連携部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去 2 回以上採択された団体ではない。	
団体連携部門	異なる複数の団体による連携提案である。（申請者・団体概要をそれぞれ記入要）	
事業要件		
該当の部門	要件内容	
全部門共通	営利活動、宗教・政治活動を目的としていない。	○
全部門共通	申請事業について、国、地方公共団体又はこれらに準ずる団体から助成を受けていない。	○
全部門共通	既に地域や団体が実施している事業そのものではない。	○
全部門共通	翌年 3 月 31 日までに事業を完了できる。	○
一般部門、団体連携部門	一度採択された事業ではない。（新しい工夫・発展性が見受けられる場合は対象とする。）	○

【3】申請者・団体概要

団体の名称	ほくりく筋肉部
団体名称のフリガナ	ホクリクキンニクブ
構成員	計 5 名
(内訳)	(1) 市内関係者 3 名 (2) その他 2 名
設立年月日 (西暦)	2026 年 4 月 2 日 (設立 1 年目)
団体概要	※記入しきれない場合、別に資料 (団体パンフレット、HP等) を併せて提出してください。
(1) 設立の目的	北陸地域において、運動習慣の低下や健康意識のばらつきが課題となっている中で、誰でも気軽に参加できるフィットネスコミュニティの必要性を感じたことが設立のきっかけです。
※設立のきっかけや現在に至る経緯等	代表自身がパーソナルトレーニング事業を通じて、多くの方の身体や生活の変化に関わる中で、「個人の変化を地域全体に広げたい」という想いが強まりました。 そこで、筋トレやスポーツを通じて人と人を繋ぎ、健康・交流・地域活性を同時に実現する団体として「ほくりく筋肉部」を立ち上げました。
(2) 今後の目指して いきたいこと	ほくりく筋肉部は、北陸を代表する「健康×地域活性コミュニティ」としての確立を目指しています。 地域イベントへの参加や自主企画イベントの開催を通じて、運動習慣の普及と交流機会の創出を行い、幅広い世代が関われる環境づくりを進めます。
※団体ビジョンや団体ミッション等、将来達成したい理想の状態や目標、団体が果たすべき存在意義等	また、教育機関・公民館・地域団体との連携を強化し、健康促進だけでなく、観光・地域文化・若者支援など多分野と掛け合わせた活動を展開します。 将来的には、行政や企業と連携しながら地域の健康課題解決に寄与する持続可能な団体としての基盤構築を目指します。
活動概要	以下に記入してください。
(1) 主な活動履歴	・四十万小学校 通学路ライン引き (2026年4月) ・かなざわユースセンター「ゆるマッちょフェス」開催 (2026年5月) - 初心者向け筋トレ体験・腕相撲チャレンジ・健康相談等を実施 ・四十万小学校 タケノコ掘り体験教室 (2026年5月) ・新豎町公民館 スポーツフェスティバル参加 (2026年6月)
(2) 得意分野・ 活躍できること	・初心者から競技者まで対応可能なトレーニング指導 ・SNS (TikTok・Instagram) を活用した集客・認知拡大 ・参加型・体験型イベントの企画運営 ・健康促進を目的とした地域活動の実施 ・教育機関や地域団体と連携した交流型コンテンツの提供
※専門的知見、連携先、 アピールポイント等	
HP,SNSのURL	https://www.instagram.com/hokurikukinniku?igsh=MW8zYWZkYTUyemZuZA%3D%3D&utm_source=qr

【４】企画内容

提案事業のテーマ	金沢市未来共創計画の5つの基本方針の中から、該当するテーマを選んでください。 【参考】未来共創計画の一覧はこちら↓ 未来共創計画 基本方針一覧
テーマ（プルダウン）	小テーマ（左セルでテーマを選ぶと、選択肢をプルダウンから選ぶことができます）
基本方針2_暮らしづくり	(3) 心身ともに健やかに暮らせる健康都市の推進
※テーマが複数に渡る場合、副次的なテーマを以下から選択してください。	
協働を希望する課名 ※スタート部門は任意	
企画のタイトル	ほくりく筋肉部 地域活性フィットネスプロジェクト
事業の概要	※①～③の流れに沿って、具体的に記載してください。
①現状の地域課題 (金沢市における困りごと、改善したい点、従来認識されていなかった課題 等)	金沢市においては、若年層を中心とした運動不足や健康意識の低下が課題となっている。また、コロナ禍以降、地域内での交流機会が減少し、特に若者や移住者が気軽に参加できるコミュニティが不足している。 さらに、地域イベントは受動的な参加が中心となりやすく、「自ら参加し体験する」型の取り組みが少ない現状がある。 加えて、SNSを活用した地域の魅力発信や、健康と地域活性を掛け合わせた新しい取り組みは十分に確立されていない。
②ねらい・コンセプト (①で記載した課題解決のために、 ・アプローチする方向性 ・工夫する点 ・協働する意義 ・市民が共感できる点 等)	本事業は、筋トレ・フィットネスを通じて地域住民の健康意識を高めるとともに、新たなコミュニティを創出することを目的とする。 単なる運動機会の提供にとどまらず、「見る・体験する・つながる」を軸とした参加型イベントとし、誰でも気軽に参加できる環境を整備する。 また、SNS（TikTok・Instagram等）を活用した情報発信に加え、新聞社やローカルテレビなど地域メディアと連携することで、地域内外への情報発信力を強化し、金沢の新たな魅力創出と認知拡大を図る。 さらに、地域事業者や企業と連携し、健康促進と地域経済の活性化を同時に実現する持続可能な仕組みの構築を目指す。
③実施内容案 年間事業スケジュール案について、必要があれば使用してください↓ 事業スケジュールひな形	実施予定時期：年間2～3回のイベント開催 対象者（ターゲット）地域コミュニティに関心のある方、運動習慣のない市民、・女性・初心者・親子層 予定場所：市内公園、広場などの屋外空間、商業施設イベントスペース、公共施設（体育館等） 実施内容：① 体験型フィットネスイベントの実施・青空トレーニング体験・姿勢改善、ボディメイク体験・親子参加型プログラム等② 地域連携企画で・飲食店と連携した健康メニュー企画・企業向け健康促進プログラムの提供・観光客向け体験コンテンツの開発 広報・周知の方法・SNS（TikTok、Instagram）による発信・・新聞社、ローカルテレビ等との連携による広報 年間事業スケジュール案：【初期（1～3ヶ月）】SNSでの認知拡大・無料体験イベントの実施 【中期（4～6ヶ月）】イベントの定期開催化・参加者コミュニティ形成 【後期（7ヶ月以降）】企業・団体との連携強化、観光コンテンツとしての展開 他、特記事項：継続的な開催により、地域内の交流人口増加を図る ・SNSとメディアを活用した情報発信により、市外への認知拡大を目指す

事業効果	※金沢市における効果や、事業の対象者が具体的にどうなるか等、記載してください。
期待できる事業効果 (広く市民が共感できるか、他団体や行政・企業とのつながり、協働の効果がみえるか 等)	① 市民の健康意識向上と運動習慣の定着 定期的なフィットネスイベントの開催により、運動未経験者や若年層を中心に健康意識の向上を図るとともに、継続的な運動習慣のきっかけを創出する。年間延べ参加者数300人以上を目標とする。 ② 地域コミュニティの活性化 参加型イベントを通じて、世代や属性を超えた交流の場を創出し、新たな地域コミュニティの形成につなげる。 参加者同士の継続的なつながりを生み、地域内の交流人口の増加を図る。 ③ 地域の魅力発信と認知拡大 SNS (TikTok・Instagram) および新聞社・ローカルテレビとの連携により、事業の様子や参加者の変化を発信することで、金沢市の新たな魅力として「健康・フィットネス文化」の発信を行う。SNS総再生数100万回以上を目標とする。 ④ 地域経済への波及効果 地域の飲食店や企業と連携することで、健康メニューの提供や福利厚生導入など新たな需要を創出し、地域経済の活性化に寄与する。また、イベント開催により来訪者の増加を促進する。
その他 特記事項 (今回応募した動機・熱意、本事業を通して何を得たいか 等)	本事業に応募した動機は、フィットネスを通じて地域に新たな価値を生み出し、金沢市をより活気あるまちにしたいと考えたためである。 これまでの活動の中で、運動をきっかけに人と人がつながり、前向きな変化が生まれる場面を多く見てきた。一方で、そのような体験ができる場はまだ限られており、特に若年層や運動未経験者にとっては参加のハードルが高い現状がある。本事業では、誰もが気軽に参加できるフィットネスイベントを通じて、「健康」「交流」「楽しさ」を同時に体験できる場を創出し、地域に継続的ににぎわいを生み出すことを目指す。また、SNSや地域メディアと連携した情報発信により、金沢市の新たな魅力としての発信を行い、市内外から人が集まる仕組みを構築したいと考えている。将来的には、本事業を一過性のイベントにとどめず、企業や地域事業者との連携を深めることで持続可能な取り組みへと発展させ、金沢市における新たな地域活性モデルとして定着させることを目標とする。